

学校名 副田小学校 校長名 脇 輝美

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価			学校関係者評価委員による評価(集約)				
			評定(数値平均)			評定(数値平均)				
			対策・改善点			主な意見				
1	(1)	校長の学校経営方針等が保護者や地域に伝わっている。	段階	人数	平均	・PTA総会時に保護者に説明を行い、周知を図った。 ・平日頃から校長と積極的に会話をし、学校経営方針を理解するように努めた。	段階	人数	平均	・具体的に説明され方針が明確でした。
			A	8	3.7		A	7	3.6	
			B	3			B	4		
			C				C			
D		D								
2	(1)	望ましい子供の姿(知・徳・体)に向かって数値的目標を設定し改善に向けて努力している。	段階	人数	平均	・本校の児童に身に付けさせたい姿を想定し、来年度の一事徹底事項等を職員全体で検討した。 ・発達段階に応じた読書冊数やチャレンジかごしまへの目標を設定して取り組んだ。	段階	人数	平均	・研究協力校としての取組や成果はすばらしいと思いました。
			A	8	3.7		A	6	3.5	
			B	3			B	5		
			C				C			
D		D								
3	(2)	子供たちは、「学校が楽しい」と感じ、生き生きと学校生活を送っている。	段階	人数	平均	・日々の授業や学校行事等の取組を充実させながら、楽しい学校生活になるよう取り組んでいる。	段階	人数	平均	・一人一人の先生と児童が生き生き活動し大変すばらしい。 ・魅力ある副田小に向かい、様々な要素を取り入れ伸ばしていただいている。
			A	7	3.6		A	5	3.5	
			B	4			B	6		
			C				C			
D		D								
4	(2)	いじめや不登校など生徒指導上の課題解決に向けて積極的に取り組んでいる。	段階	人数	平均	・いじめアンケートや各種調査から実態を把握し、必要に応じて外部機関と連携しながら対応している。生徒指導連絡会で情報を共有し、対応策を検討している。	段階	人数	平均	・いじめ100%解決、そして学校が楽しいと思う子供たち80%はすばらしい。残り20%の子供たちも楽しくなるよう、さらに。
			A	9	3.8		A	5	3.5	
			B	2			B	6		
			C				C			
D		D								
5	(3)	子供たちの安全(登下校時、自然災害時)について細心の注意を払っている。	段階	人数	平均	・日常の安全指導や交通安全教室、各避難訓練等を通じて危険回避能力の育成に努めている。	段階	人数	平均	・指導がよくなされている。 ・もう少し保護者との話し合いがあっても良いと思います。
			A	6	3.5		A	2	3.2	
			B	4			B	9		
			C	1			C			
D		D								
6	(4)	教職員は、子供と望ましい関係を築いており、保護者や地域との交流が図られている。	段階	人数	平均	・児童との教育相談活動を行い、児童理解と早期解決を心がけている。また、必要に応じて保護者へ連絡をして、児童の困り感の共有に努めている。	段階	人数	平均	・真剣に活動に取り組み地域と一体となって充実している。 ・先生方がそれぞれ「めざす教職員像」を掲げて、子供を理解し寄り添える先生を目指している。
			A	7	3.6		A	6	3.5	
			B	4			B	5		
			C				C			
D		D								
7	(5)	学校は常に整理整頓、清掃され、花や緑に囲まれている。	段階	人数	平均	・木が多く、落ち葉や折れた枝への対応が大変である。 ・縦割り班での清掃活動をより推進し、子供同士で教え合う機会を多く設けている。	段階	人数	平均	・大変きれいに清掃されている。 ・一人一鉢など工夫され美しく落ち着いた環境づくりに努めている。 ・よく整美され花壇の草花も生き生きと育っていた。
			A	8	3.7		A	8	3.7	
			B	3			B	3		
			C				C			
D		D								
8	(5)	学校の施設・設備は定期的に点検され、安全な状態が保たれている。	段階	人数	平均	・毎月複数名で安全点検を行い、修繕が必要な箇所については係を中心として、迅速に対応している。	段階	人数	平均	・重大事故ゼロをめざし、毎月の安全点検と迅速な補修等対応されている。
			A	7	3.6		A	8	3.7	
			B	4			B	3		
			C				C			
D		D								
9	(7)	子供たちの学力や体力の実態が保護者や地域によく知らされている。	段階	人数	平均	・学校だよりや各学級での週報、各種会合等で周知を図っている。落ち込みが見られるものについては、学級PTAなどで話題にして関心をもっていただくように努めた。	段階	人数	平均	・生活リズムのチェックなど保護者と共有しながら元気に登校できるようにしている。
			A	6	3.5		A	3	3.3	
			B	5			B	8		
			C				C			
D		D								
10	(7)	保護者や地域は学校の教育活動に対して協力・支援を行っている。	段階	人数	平均	・学校のPTA活動において大変協力的に携わっていただいているが、参加者に偏りが見られる。 ・学校応援団を積極的に活用し、より充実した教育活動になるよう努めている。	段階	人数	平均	・今後も継続し、より多くの地域の大人が学校活動に参加、支援していきたい。
			A	7	3.5		A	2	3.2	
			B	3			B	9		
			C	1			C			
D		D								

様式6 令和6年度 学校関係者評価結果

No. 2

学 校 名
副田小

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価(集約)			対策・改善点	学校関係者評価委員による評価(集約)		
			段階	人数	平均		段階	人数	平均
11	(6)	小中一貫教育は、小中間の交流活動等が効果的に行われ、成果が現れている。	段階	人数	平均	・よりよい小中一貫教育を目指し、年3回の全体会に加え、教科や学年ごとの交流を行うことができている。	段階	人数	平均
			A	5	3.4		A	4	3.4
			B	5			B	6	
			C	1			C		
D		D							
12	(6)	薩摩川内元氣塾は、子供たちに夢や元気を与えている。	段階	人数	平均	・りんごの木おはなし会の皆様による読み聞かせでは想像することのすばらしさを体験することができた。また、親子ヨガでは、親子でスキンシップを図り、楽しんで活動することができた。	段階	人数	平均
			A	7	3.5		A	5	3.5
			B	3			B	5	
			C	1			C		
D		D							
13	(6)	英語の授業では、子供も教師も笑顔でコミュニケーション活動を行い、英語力が身に付いている。	段階	人数	平均	・ALTやESTの先生方が分かりやすく楽しく教えてくださるため、英語の授業に抵抗なく毎回楽しく参加している。	段階	人数	平均
			A	8	3.7		A	5	3.5
			B	3			B	5	
			C				C		
D		D							
14	(2)	子供たちは、学校や地域で進んであいさつをしている。	段階	人数	平均	・以前にくらべ自分からあいさつをする児童が増えた。引き続き指導を継続して、気持ちのよいあいさつを交わし合う学校づくりを推進する。	段階	人数	平均
			A	5	3.4		A	4	3
			B	5			B	5	
			C	1			C	1	
D		D							
15	(8)		段階	人数	平均		段階	人数	平均
			A		#DIV/0!		A		#DIV/0!
			B				B		
			C				C		
D		D							
16	(8)		段階	人数	平均		段階	人数	平均
			A		#DIV/0!		A		#DIV/0!
			B				B		
			C				C		
D		D							

↑A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、学校教職員の評価を平均(小数第1位まで)

↑A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、学校関係者評価委員の評価を平均(小数第1位まで)

<学校関係者評価結果及び委員の意見等をふまえた次年度の改善点と対応策>

1	子供が「学校が楽しい!」「みんなで何かをするのは楽しい!」と実感できる学校づくり
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション能力の育成を意識した教育活動の推進及び個に応じた指導・支援の継続</li> <li>・思いやりの心や協力する態度、自己有用感を高める縦割り班での活動促進(掃除活動、集会活動等)</li> <li>・いじめや不登校の未然防止及び早期対応と解決、相談活動の充実、外部関係機関との連携促進</li> </ul>
2	子供が「分かった!」「できた!」が実感できる授業づくり
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくり(教材研究の時間の確保、職員研修の充実)</li> </ul>
3	教育環境の充実
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣の育成(あいさつ、言葉遣い、整理整頓、早寝・早起き・朝ごはん、外遊び)</li> <li>・地域人材・資源を活用し、地域とのつながりを意識した学校応援団や地域ボランティア、薩摩川内元氣塾等の体験活動の充実</li> <li>・学びの連続を意識した幼・小・中連携の魅力ある教育活動の推進(幼・小 小・小 小・中)</li> <li>・家庭・地域と連携・協力した安全指導と安全確保(歩いて登下校の推進、防災・防犯意識の向上)</li> <li>・家庭・地域と連携・協力した読書活動の推進(一日20分間読書、親子読書、読み聞かせ活動等)</li> <li>・目的に応じたICT機器(タブレットPC)の活用促進</li> <li>・安全・安心で、季節の花や緑に囲まれた美しい校内環境の整備</li> </ul>